

## 1 はじめに―校区・学校の概要

### (1) 位置

長島町は平成 18 年 3 月 20 日に旧東町と旧長島町が合併して発足した。川床中学校区は長島の南東部に位置し、旧東町地域になる。また、鹿児島県の北西に位置する。東は八代海に面し、西は長島中央山岳地帯を境にして旧長島町に、南は黒之瀬戸を隔てて阿久根市脇本地区と接している。川床中学校からは、黒之瀬戸大橋まで約 6 km、阿久根市まで約 20 km、出水市まで約 30 km、鹿児島市まで約 100 km である。

### (2) 気候や産業

本校は、塩迫、脇崎、市来崎、牧、梅ノ木山、加世堂、小坂、川床上、川床中、川床下、山門野上、山門野中、山門野下、杉ノ段、火ノ浦、田尻の地区を合わせて 16 の地域からなる。

気候は比較的温暖であるが、校区の山間部は長島の中でも最も寒い地域といわれる。

校区内では温州、甘夏、ハッサクなどのかんきつ類の生産が盛んであり、「川床みかん」の産地として知られている。海岸部では、ブリ、タイなどの養殖漁業がさかんで、近年ブリが海外で評価され、輸出が増えてきている。田尻では畑作が中心で、じゃがいもや甘藷、グリーンピース、葉たばこなどが生産されている。また、少数ではあるが副業として、わかめ、ひじき、うにななどの漁もある。

### (3) 歴史

昭和 40 年代から、島内のあちこちで古墳が発掘されている。加世堂の小向江古墳からは、6 世紀頃の鉄剣や土器、山門野古墳からは住居跡や弥生土器、加世堂古墳では 7 世紀の畿内型のもの、脇崎の古墳からは箱式石棺などが発掘されている。

昭和 49 年、黒之瀬戸大橋の開通により、フェリーの時間を気にせずに本土と行き来できるようになり、生活が大きく変化した。

### (4) 学校の概要

本校区は、平成 28 年度まで旧田尻小学校と川床小学校の 2 つから成り立っていたが、今年度田尻小学校が川床小学校に統合・再編されたため、1 小 1 中型の校区となった。

平成 29 年度は 46 人の生徒が在籍している。今年度から「あいさつ長島一」の学校をめざし、生徒会を中心に「先手あいさつ」「語先後礼」「立ち止まりあいさつ」に取り組んでおり、地域からの評判も良い。さらに、昨年度から「協働」「共育」をキーワードとして、校訓「進取・永続・協同・健康」を基盤とした「現状に満足せず前に進む川床中」を学校全体で目指している。部活動は 4 団体(軟式野球、サッカー、女子ソフトテニス、吹奏楽)あり、全校生徒の約 7 割が入部している。

## 2 地域の人・自然・文化を生かした教育活動

本校では、全校一斉または学年ごとに地域の人・自然・文化を活用した体験学習を通して、地域に対する理解を深めるとともに、たくましく豊かな心の育成を目指した教育を実践している。

### (1) 郷土芸能「鐘踊」の伝承活動（1年生）

鐘踊は、学校隣にある若宮神社への奉納や祇園祭等で踊られていたもので、平成2年度から伝統芸能の後継者育成のために、1年生が取り組んでいる。地域人材を活用した教育活動として毎年実施しており、本年度で28年目を迎える。地域有志の熱心な指導のもと5月下旬から14時間を使って練習を行っている。

9月上旬には、衣装の補修や着付け教室を開き、生徒ならびに保護者が参加している。

この郷土芸能の伝承活動を通して地域の伝統文化の素晴らしさに触れ、豊かな感動体験を味わうことが、郷土に対する愛情に繋がると考える。

生徒は鐘踊を踊ることを誇りに思っており、保護者もその意義を理解し、活動に大変協力的である。また、地域住民は練習時の鐘の音色を聞くことで、その時々季節感を味わうとともに体育大会当日の演技を鑑賞することを楽しみにしている。鐘踊は本校生徒や保護者のみならず、川床地区としての特色ある活動となっている。

### (2) 桃源郷訪問（2年生）

毎年、2年生による長島町内にある特別養護老人ホーム「桃源郷」での体験活動を行っている。

この活動を通して、高齢化社会における福祉や介護の現状と課題について理解を深めさせている。

また、ヘルパー等による高齢者への対応を実際に見ることにより、他人に奉仕することが自らの成長に繋がることや、共に助け合って生きていくことがいかに大切であるかも学んでいる。桃源郷訪問は、年長者への敬意の念やいたわりの心、奉仕の心、生き抜くことの素晴らしさなどを学ぶ絶好の機会となっている。

### (3) 職場体験学習（3年生）

以下4点のねらいを達成させるため、3年生による職場体験学習を実施している。



〈 体育大会で披露した鐘踊の様子 〉

永続する伝統を守る

体育大会での披露に向けて、六月から地域の人たちの熱心な指導の下、かねと太鼓を使ってかね踊りの練習をしてきました。伝統芸能の後継者育成のために、学校でも取り組んでいます。体育大会での披露は、今年で二十八年目を迎え、永続する学校の伝統種目にもなっています。

私は、同じ集落に住んでいる人が指導してくれると聞いて安心しました。練習では、大きくて見やすい楽譜を用いて教えてもらい、わかりやすく早く覚えることができました。先日あった体育大会では、かさと衣装を身につけ、みんなが心を一つにして、楽しく踊ることができました。長島町の伝統文化の一つでもあるかね踊りを踊ることができてうれしかったです。

〈 鐘踊りについての生徒作文 〉



〈 桃源郷で高齢者とのふれあい活動 〉

ア 職場を直接見学したり実習したりすることにより働くことの意義や職業に対する意識を高め、今後の中学校生活において、望ましい職業観や勤労観をもって意欲的に学習に取り組むことができるようにする。

イ 実際に汗を流して働く体験を通して、労働の尊さや喜び、厳しさを肌で感じ取り、保護者をはじめ身近な人々の仕事を理解する機会とする。

ウ 職場での体験を通して社会生活や職業生活を営むうえでのマナーや規律および礼儀について学ぶ。

エ 言葉づかいなどの大切さを知り、人として生きていくうえで必要な資質を高める。

今年度の職場体験学習を実施するにあたり、町内9カ所の事業所に協力を依頼したところ、どの事業所も快く了承していただいた。体験学習当日、各職場の担当者等から適切な指導やアドバイスをいただき、生徒は一生懸命に活動し、働くことの喜びや厳しさを体験することができたと同時に、将来の進路について見つめ直す良い機会にもなった。

#### (4) 長島一周強歩大会(全学年)

本行事は、長島本島一周約36キロメートルを走ったり歩いたりしながら、自分の体力と忍耐力を鍛える体験活動であり、生徒や保護者・教職員・地域住民が一体となって取り組む本校の伝統的な行事である。本校生徒だけではなく、校区小学生や地域住民も毎年参加している。

この行事を通して、やればできるという自信と誇りを持たせ、たくましい身体と精神力を培うと共に、郷土の地理的理解を深め、美しい自然への親しみを持たせることに繋げている。

今年度で47回目を迎えたが、毎年ゴール後に保護者が作った豚汁が振る舞われ、心身の疲れを癒してくれている。

また、36キロメートルの道中は、生徒同士・生徒と教職員・生徒と保護者間のコミュニケーションを図り、お互いの理解を深め合う絶好の場ともなっている。地域住民の声援を受け、完歩直後の晴れやかな生徒の顔が非常に印象的である。



〈 風の杜こども園での職場体験学習 〉

- ・ 大変なことが多かったですが、これからに生かしていきたいです。
- ・ 一緒に遊んだりご飯を食べたりして良い経験になりました。
- ・ 3日目はスタッフの一人になれたかのように仕事をすることができました。
- ・ すごく充実した3日間になりました。
- ・ 仕事の大変さがわかりました。
- ・ 大人は仕事を頑張っていると思いました。

〈 職場体験学習後の生徒の感想 〉



〈 郷土の自然を満喫しながら完歩を目指す生徒 〉



〈 チェックポイントでの保護者の活動 〉

### 3 その他の取組

#### (1) 文化芸術による子供の育成事業

講談師による表現手法を用いたワークショップ等により、伝統芸能について理解するとともに、コミュニケーション能力や豊かな情操を養うことを目的として実施した。

#### (2) 教育活動等についての情報発信

学校ホームページと併用して、日々の教育活動をリアルタイムに情報発信するためにブログを活用し、ほぼ毎日更新している。



＜文化芸術による子供の育成事業（講談）＞

### 4 成果と課題

#### (1) 成果

郷土の人・自然・文化を活用した様々な取組により、生徒は郷土長島に対して理解や愛着をさらに深めることができた。

また、職業に対する正しい理解と伝統文化の継承、諦めずに最後までやり抜くことの大切さなどについて学ぶことができた。

このことは、本校のスローガンである「しっかり学び、いきいき伝え、のびのび動く」のもと、たくましく生きる力を育む教育実践であったと考える。

また、先に述べたとおり、本校は保護者や地域の方々の学校教育活動に対する支援体制が充実しており、地域の人材等を生かした直接体験的な教育活動を実施しやすい環境である。この状況を維持するためにも、今後も地域とのつながりを発展・充実させることが重要であり、そのことが地域に誇りを持ち、たくましく生きる力を備えた生徒の育成に繋がるものと考えている。

さらに、ブログ等での情報発信により、より多くの方々に学校の教育活動等について深く理解していただけたと考える。

#### (2) 課題

現在、本校職員は各行事の成功に向けて精一杯努力し、一定の成果を挙げている。

今後、さらに効果的な体験活動を行うために、学校教育目標との関連において、行事の目的を明確にし、目的達成のための準備や実践段階における各自のミッションを確実に遂行していきたい。そして、本校生徒が「共に学び、共に喜びを分かち合い共に育った」という一体感を持ちながら新しい世界へ羽ばたけるように、全職員一丸となって努力していきたい。

川床中ぶろぐ  
鹿児島県長島町 H29年度生徒数46名 校訓「進取」「永続」「協同」「健康」

カウンター  
Today: 18  
Yesterday: 42  
Total: 36422  
PR: 02/20/2018

川床中学校ホームページ  
鹿児島県立川床中学校

2018年1月20日(月)  
職員作業で汗を流す  
25日8:30～9:40、  
出勤した職員で  
・プランター用の土作りやその土をプランターに入れる作業  
・部室裏の水仙を川床花壇(技術室裏)へ移植する作業  
等を行いました。  
27日は、プランターへ花の植え付け作業も行う予定です。

川床小  
川床小ブログ

2018年1月  
日 月 火 水 木 金 土  
1 2 3 4 5 6  
7 8 9 10 11 12 13  
14 15 16 17 18 19 20  
21 22 23 24 25 26 27  
28 29 30 31

最近の記事  
2月行事委員会  
【鹿児島県立川床中学校】  
入部活動  
西郷どんコーナー設置  
あいさつ運動  
授業  
今日の鹿児島  
連絡  
12日、13日現在、連絡  
学校設置番号、資料

＜川床中学校ブログの画面データ＞